

シャープ通信

2025 年 1 月 vol.45

「シャープの今」をお届けします。

広報部

日本電機工業会(JEMA)が選定する 2024 年度(第 73 回)電機工業技術功績者表彰 において「委員会活動最優秀賞」「優秀賞」「奨励賞」を受賞



▲(左から)シャープエネルギーソリューション株式会社 化合物事業推進部 主任の島田さん、主任の鈴木さん、主任の伊地さん、
同社 社長の五角さん、同社 エネマネ事業統轄部 エネマネ開発部 主任の森さん、
Smart Appliances and Solutions 事業本部 空調事業部 技術部 藤原さん、同事業本部 国内キッチン事業部
冷蔵技術部 主任の岡部さん、同事業本部 プラズマクラスター・ヘルスケア事業部 PCI 第一技術部 技師の中村さん

一般社団法人 日本電機工業会(JEMA)が選定する「2024 年度(第 73 回)電機工業技術功績者表彰」に
おいて「委員会活動最優秀賞」「優秀賞」「奨励賞」を受賞しました。

「電機工業技術功績者表彰」は、毎年、新製品・新技術開発等によって優れた成果を挙げ、電機工業の進歩
発達に貢献した方々を表彰するものです。

LGBTQ+に関する取り組みを評価する「PRIDE 指標 2024」にて「ブロンズ」認定を取得



職場における LGBTQ+※1 などの性的マイノリティに関する取り組みを評価する「PRIDE 指標」において、
「ブロンズ」認定を取得しました。当社では、従業員一人ひとりが互いの個性を尊重することでイノベーションを
生み出し、当社ならではの革新技术の開発やサービス提供など、新しい価値の提案につなげることを目指して
います。

※1 レズビアン(Lesbian)、ゲイ(Gay)、バイセクシュアル(Bisexual)、トランスジェンダー(Transgender)、クィア/クエスチョニング
(Queer/Questioning)などの性的マイノリティの総称。

令和6年度 産業標準化事業表彰「イノベーション・環境局長表彰」を受賞



▲令和6年度 産業標準化事業表彰「イノベーション・環境局長表彰」の賞状を受け取る
当社 研究開発本部 通信・映像標準技術研究所 主任研究員の中條さん

経済産業省が主催する令和6年度 産業標準化事業表彰において、当社 研究開発本部 通信・映像標準技術研究所 主任研究員の中條さんが「イノベーション・環境局長表彰(産業標準化貢献者)」を、米国研究所 Systems, Algorithms and Services Researcher の高田さんが「イノベーション・環境局長表彰(国際標準化奨励者)」を受賞しました。

産業標準化事業表彰は、国際標準化機構(ISO)や国際電気標準会議(IEC)における国際標準策定、国内規格(JIS)策定や適合性評価活動といった産業標準化推進活動に優れた功績を有する方や組織を経済産業省が表彰するものです。「イノベーション・環境局長表彰」は、標準の策定や適合性評価活動に貢献し、今後とも継続的な活動が期待できる方に対し贈られます。

「物故社員法要」を高野山で挙行



2024年10月19日(土)高野山にある当社の菩提寺、西南院(さいなんいん)において、物故社員および社友会物故者の法要を執り行いました。

法要は今年で62回目を迎え、この1年間にお亡くなりになられた社員13柱、社友会69柱の計82柱を新たに合祀し、計2,385柱の御霊をお慰めました。

スマートフォン 2024 秋モデル「AQUOS R9 pro」「AQUOS sense9」を商品化



AQUOS R9 pro
CO-ENGINEERED WITH 



AQUOS sense9

「AQUOS sense9」(左から、ブラック、ホワイト、
グリーン、コーラル、グレイジュ、ブルー)

- ・高精細な 5,030 万画素のライカカメラ社が監修した標準・広角・望遠カメラを搭載し、カメラが 3 眼になりズームや超広角もさらに高画質に進化したフラッグシップモデルスマートフォン「AQUOS R9 pro」
- ・全 6 色の個性豊かなカラーバリエーションと、さらに高画質になったディスプレイとカメラで楽しめる 2 日間たっぷり使える電池持ち※2 のスタンダードモデル「AQUOS sense9」

※2 1 日あたり動画視聴 4 時間、音楽ストリーミング 3 時間、SNS 閲覧 2 時間、ゲーム 1 時間の計 10 時間の利用を想定した独自基準に基づく試算値です。実際の電池持ちはご利用の環境によって異なります。

水なし自動調理鍋「ヘルシオ ホットクック」with シリーズ※3 を発売

HEALSIO
ヘルシオ ホットクック



まぜナビ
味を全体になじませるため
上下を入れかえるように
大きく混ぜてください



水なし自動調理鍋「ヘルシオ ホットクック」<KN-MN16H-B>

1. 温度と蒸気のダブルセンサーにより自動できめ細かく加熱を調整することで、火加減の難しい無水調理※4なども、ほったらかしで調理可能
2. 調理中に具材をかき混ぜるタイミングやコツをアドバイスする「まぜナビ※5」機能を新搭載
3. 食洗機での洗浄が可能※6な部品や、見やすい液晶画面の採用により、使いやすさを追求

※3 「with」は「一緒に」が由来。ユーザーがかき混ぜ、料理と一緒に作り、一緒に楽しむことを提案します。

※4 全てのメニューが対象ではありません(レシピ集掲載の無水メニュー数は 32)。

※5 全てのメニューが対象ではありません(レシピ集掲載の「まぜナビ」対象メニュー数は 31)。

※6 内蓋、つゆ受け、蒸しトレイ、蒸気ロカバー(内鍋をのぞくお手入れが必要な部品)。

★ WEB 社内報をご覧ください！！

URL: <https://blog.sharp.co.jp/family/>

または、こちらの QR コードからアクセスしてみてください！！ →



2024 年度 第 2 四半期決算を発表



前列左から、専務執行役員 CFO 兼 管理統轄本部長の小坂さん、代表取締役社長執行役員 兼 CEO の沖津さん
後列、管理統轄本部 IR 部長の中道さん

2024 年度第 2 四半期、上期のブランド事業の売上高は、スマートオフィスが大幅な増収となり、前年同期比 10.2%増の 7,129 億円となりました。営業利益については、円安によるマイナス影響があるなかで、増益を確保しております。また、デバイス事業では、売上が減少した一方、構造改革の効果もあり、営業赤字が大幅に縮小しました。その結果、全社トータルでは、売上高が減少したものの、営業利益は大きく改善し、2022 年度上期以来の黒字となりました。

経常利益は、営業外の為替差損益の変動により、減益となりましたが、最終利益は、投資有価証券売却益などもあり、大幅な増益となりました。通期の業績予想については、ここまで、業績が、ほぼ想定通り進捗していることから、据え置いております。

【各セグメントの概況】

〔ブランド事業〕 <スマートライフ&エナジー>の売上高は、白物家電事業が増収、エネルギーソリューション事業が減収となり、前年同期比 2.7%減の 1,166 億円となりました。白物家電事業では、国内が減収、海外が増収となっています。一方、エネルギーソリューション事業では、EPC が大幅な減収となりました。<スマートオフィス>の売上高は、ビジネスソリューション事業・PC 事業とも増収となり、前年同期比 20.1%増の 1,739 億円となりました。ビジネスソリューション事業は、国内外とも増収となっています。国内では、オフィスソリューションやインフォメーションディスプレイが好調で MFP も前年同期を上回りました。PC 事業では、引き続き、法人向けプレミアムモデルが好評で、マネジメントサービスも徐々に拡大していることから、国内で法人向けや官公庁向けが、大幅な増収となりました。<ユニバーサルネットワーク>の売上高は、テレビ事業・通信事業とも減収となり、前年同期比 5.9%減の 756 億円となりました。テレビ事業では、海外の市場が低調で競争環境も激しかったことなどから、減収となりました。通信事業も減収となりましたが、スマートフォンの販売台数は増加しており、特に AQUOS R9 や AQUOS wish4 などの新製品の販売は好調でした。

〔デバイス事業〕 <ディスプレイデバイス>の売上高は、車載向けのディスプレイは底堅く推移したものの、スマートフォン向け PC・タブレット向けのディスプレイや、堺ディスプレイプロダクトでの生産を停止した大型ディスプレイが減収となり、前年同期比 20.5%減の 1,426 億円となりました。<エレクトロニックデバイス>の売上高は、新規受注を獲得した加工用や 2024 年より量産を開始した車載用の半導体レーザーが大きく伸びましたが、センサーモジュールの顧客需要が変動した影響があり、前年同期比 39.1%減の 632 億円となりました。

アセットライト化の一環として、資産売却等を進めていますが、他社と協議中であるため、業績予想には織り込んでいません。今後、業績予想を修正する必要がある場合には、速やかに公表させていただきます。